

報告事項 イ

平成26年度「児童生徒の問題行動等生徒指導上の諸問題に関する調査」
について

平成26年度「児童生徒の問題行動等生徒指導上の諸問題に関する調査」について別
紙のとおり報告します。

平成27年10月19日

鳥取県教育委員会教育長 山本仁志

平成26年度「児童生徒の問題行動等生徒指導上の諸問題に関する調査」 について

平成27年10月19日

いじめ・不登校総合対策センター

高等学校課

9月16日に公表になりました平成26年度「児童生徒の問題行動等生徒指導上の諸問題に関する調査」より、鳥取県の調査結果の概要を報告します。

1 鳥取県の調査結果の概要

(1) 暴力行為の発生件数（公立のみ）

- 前年度に比べて発生件数は小学校は減少したが、中学校及び高等学校で増加した。
- 県全体の発生件数は前年度に比べて増加し、1,000人当たりの発生件数も増加した。

【概要】

<小学校>

- ・発生件数は、31件で、前年度（37件）より減少。

<中学校>

- ・発生件数は、91件で、前年度（86件）より増加。

<高等学校>

- ・発生件数は、64件で、前年度（52件）より増加。

○小・中・高の児童生徒1,000人当たりの発生件数は3.2件で、全国（4.0件）を下回った。

○暴力行為の区分の内、「対教師暴力」の発生件数は26件で、前年度（26件）と同じ。

○小学校の暴力行為は前年度より6件減少したが、平成24年以降継続して30件を超えている。

○中学校の暴力行為発生件数は2年連続で上昇している。

【鳥取県の暴力行為の発生件数の推移】

暴力行為		14年度	15年度	16年度	17年度	18年度	19年度	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	前年比増減
鳥取県	小	3	4	13	4	13	6	3	13	13	11	37	37	31	-6
	中	118	151	142	97	76	65	90	123	115	106	78	86	91	+5
	高	40	33	63	38	61	50	59	61	68	56	64	52	64	+12
	計	161	188	218	139	150	121	152	197	196	173	179	175	186	+11
	発生件数/ 千人	2.2	2.6	3.1	2.0	2.2	1.9	2.3	3.1	3.1	2.8	3.0	3.0	3.2	+0.2
全国	発生件数/ 千人	2.5	2.7	2.6	2.6	3.1	3.7	4.2	4.3	4.6	4.2	4.2	4.3	4.0	-0.3

※全国の発生件数/千人は公立のみの数値

(2) 小・中学校（国立、私立含む）の不登校児童生徒の状況

- 前年度に比べて不登校児童生徒数は小学校、中学校ともに増加した。
- 出現率は、小学校は全国平均を上回り、中学校は全国平均を下回った。
- 指導の結果再登校している又は登校できるようになった児童生徒の割合は、小・中学校ともに全国を上回り、不登校児童生徒の3割以上が再登校に至っている。

【概要】

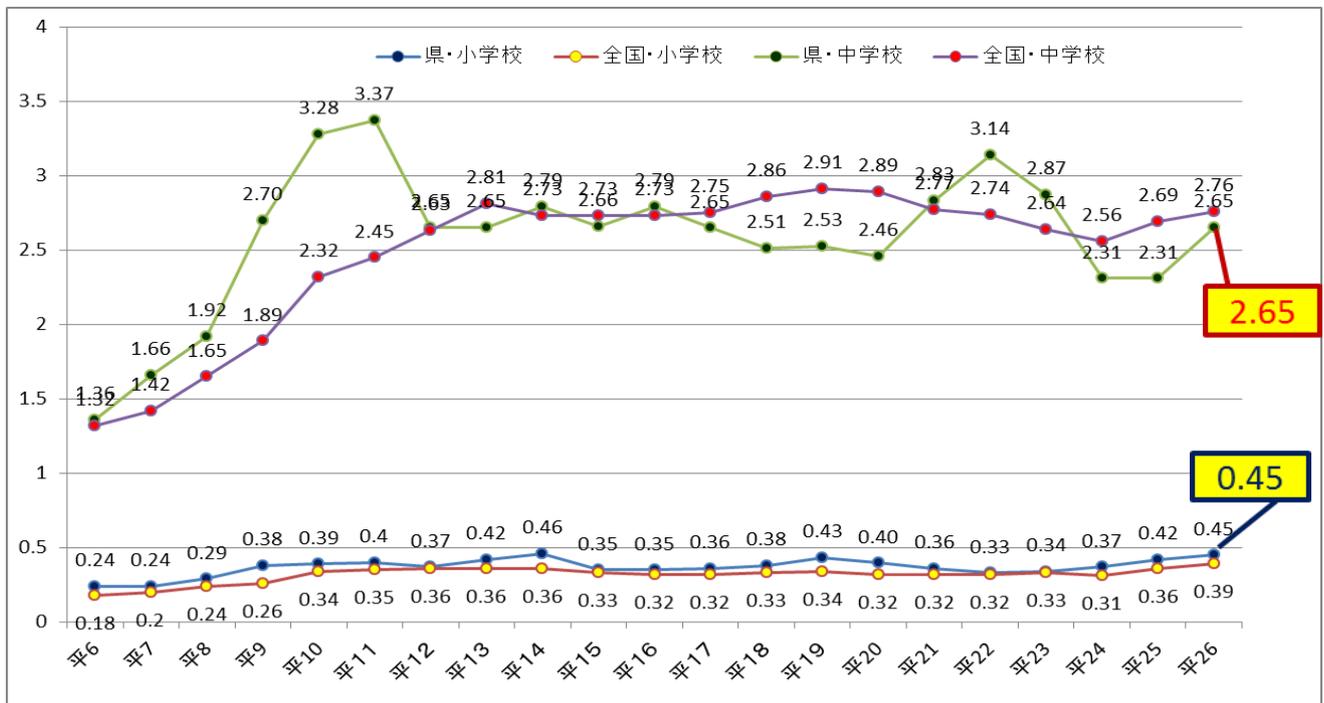
<小学校>

- ・不登校児童数は139人で、前年度（130人）に比べて増加（+9人）
- ・不登校児童の割合は0.45%で全国（0.39%）を上回った。

<中学校>

- ・不登校生徒数は434人で、前年度（380人）に比べて増加（+54人）
- ・不登校生徒の割合は2.65%で、全国（2.76%）を下回る。

【不登校児童生徒の割合の推移】



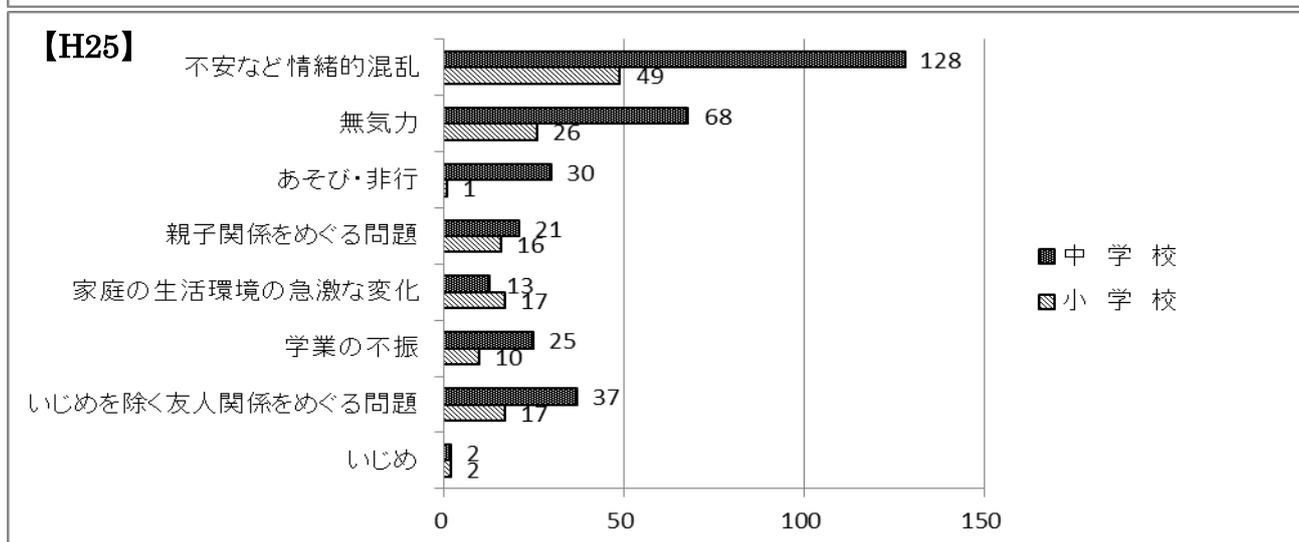
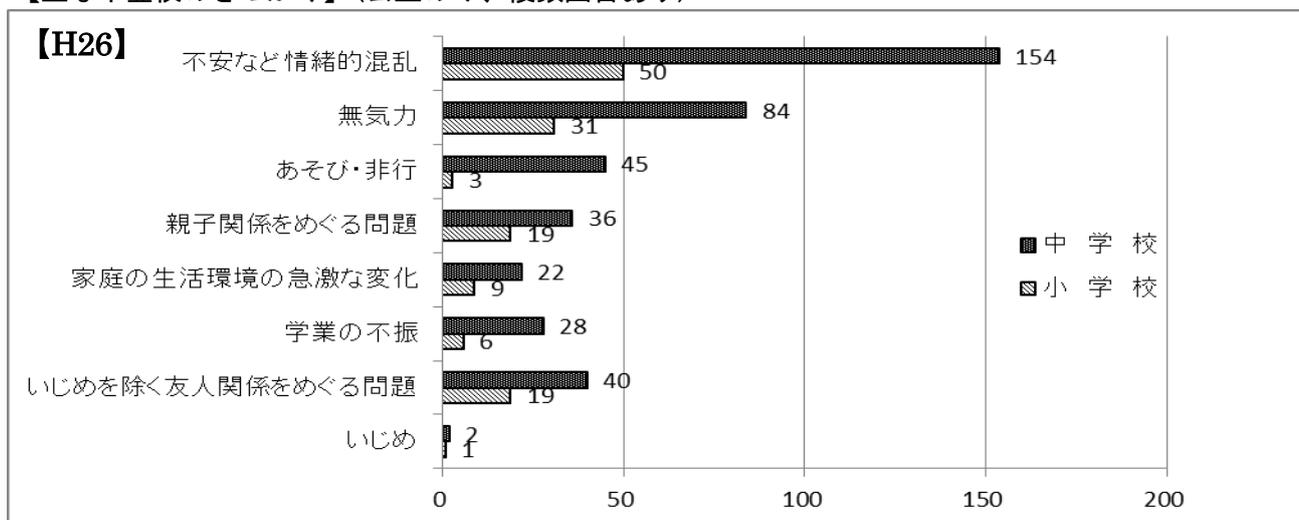
(3) 小・中学校（公立のみ）の不登校児童生徒の状況

【概要】

- 以前は小6から中1での増加が3倍を超えていたが（H21小6年38名⇒H22中1年117名）、H24～H25にかけては2倍程度の増加にとどまり（H24小6年47名⇒H25中1年100名）、小中連携の成果が出ている傾向が見られたが、H25～H26にかけては2.5倍増（H25小6年40名⇒H26中1年102名）となっている。
- 不登校のきっかけとしては、小学校、中学校ともに「不安などの情緒的混乱」、「無気力」という本人に関わる問題が多い。中学校では「あそび・非行」がきっかけの不登校が目立つ。（H2530名⇒H2645名）。学校に係る状況では、「(いじめを除く)友人関係をめぐる問題」「学業の不振」が多く、家庭に係る状況では、小・中学校ともに「親子関係をめぐる問題」が増加している。（小中合計H2537名⇒H2655名）
- 学校による指導の成果により、再登校する又は登校できるようになった児童生徒と登校には至らないものの好ましい変化が見られるようになった児童生徒を合わせた割合は、全国平均と比較して小

学校では約4%、中学校では約12%高くなっている。

【主な不登校のきっかけ】（公立のみ、複数回答あり）



【H21-H26 指導の結果登校する又はできるようになった児童生徒等について】

不登校児童生徒への指導結果状況（鳥取県公立のみ）

区分	小学校						中学校					
	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H21	H22	H23	H24	H25	H26
指導の結果登校する又はできるようになった児童生徒	50	46	43	55	41	50	185	228	202	168	165	138
指導中の児童生徒	67	63	66	63	88	89	292	282	268	202	207	288
うち継続した登校には至らないものの好ましい変化が見られるようになった児童生徒	27	26	27	16	32	32	109	119	106	58	66	133
計	117	109	109	118	129	139	477	510	470	370	372	426

不登校児童生徒への指導結果状況（鳥取県公立のみ） 【割合】

区分	小学校						中学校					
	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H21	H22	H23	H24	H25	H26
(a) 指導の結果登校する又はできるようになった児童生徒	42.7%	42.2%	39.4%	46.6%	31.8%	36.0%	38.8%	44.7%	43.0%	45.4%	44.4%	32.4%
指導中の児童生徒	57.3%	57.8%	60.6%	53.4%	68.2%	64.0%	61.2%	55.3%	57.0%	54.6%	55.6%	67.6%
(b) うち継続した登校には至らないものの好ましい変化が見られるようになった児童生徒	23.1%	23.9%	24.8%	13.6%	24.8%	23.0%	22.9%	23.3%	22.6%	15.7%	17.7%	31.2%
(a) 全国（公立のみ）	32.7%	32.5%	33.2%	33.8%	32.8%	33.2%	29.8%	30.9%	30.7%	29.4%	29.8%	31.0%
(a)+(b) 鳥取県	65.8%	66.1%	64.2%	60.2%	56.6%	59.0%	61.6%	68.0%	65.5%	61.1%	62.1%	63.6%
(a)+(b) 全国	53.7%	54.8%	54.9%	53.3%	52.8%	54.9%	49.6%	51.3%	51.4%	49.0%	50.3%	51.6%